

### 平成23年 1月～3月の工事事故の状況

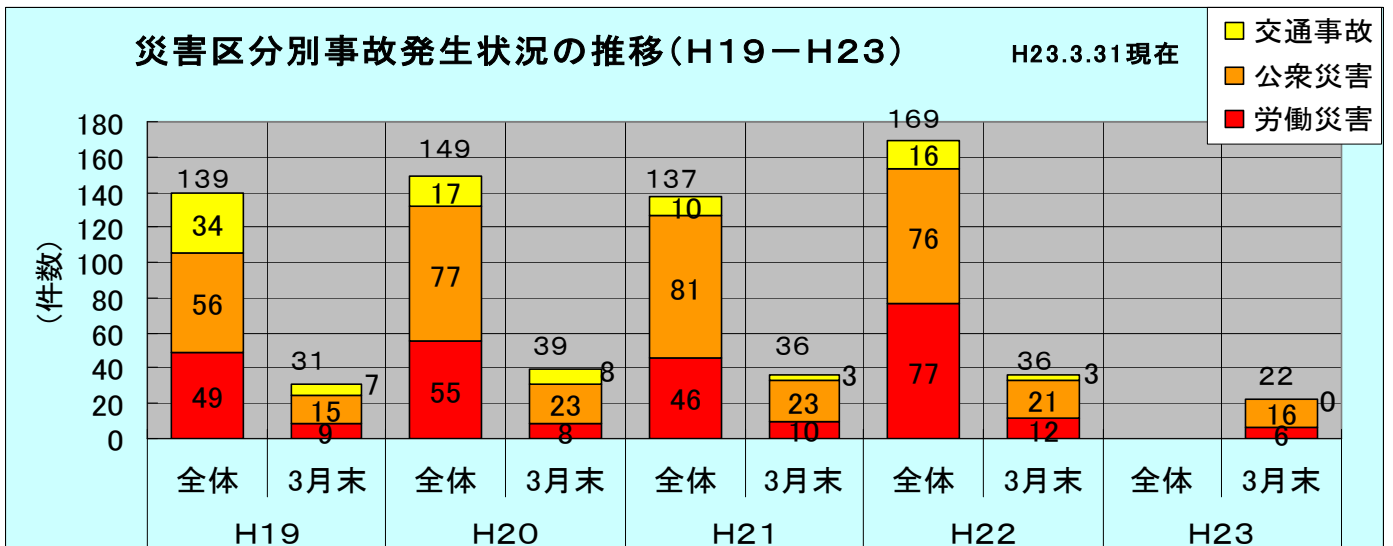
北陸地方整備局発注の直轄工事

#### ◆平成23年事故の状況◆

☆平成23年1月～3月の事故は22件(昨年36件)発生、公衆災害が16件、労働災害6件となっています。安全対策を徹底し、事故発生件数を減らしましょう。

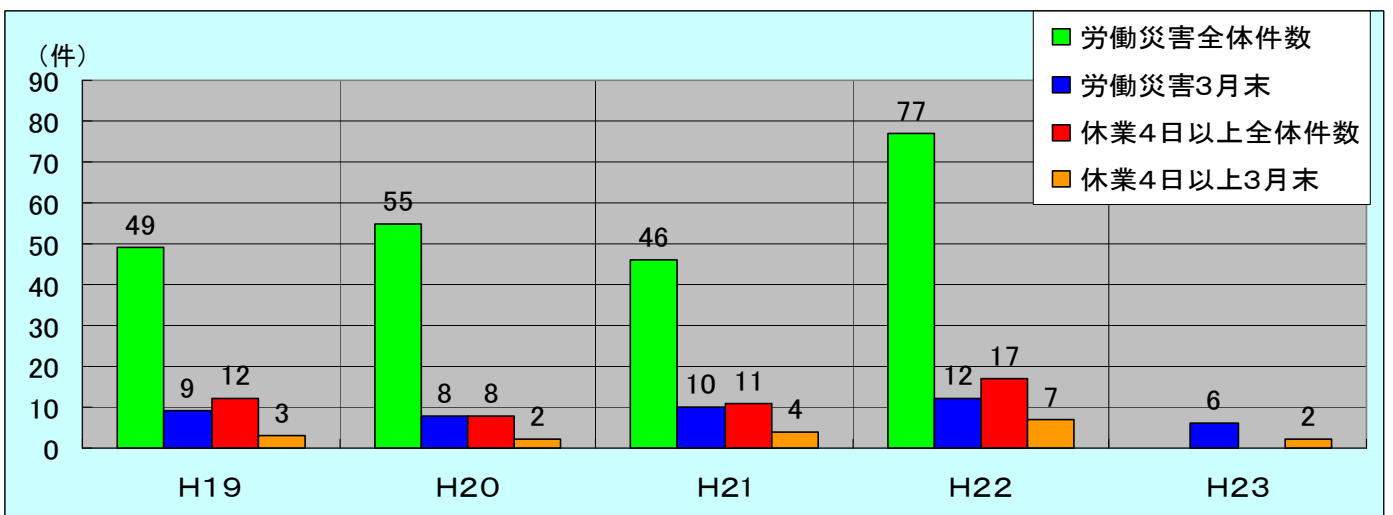
#### 1. 工事事故速報の件数

平成23年の1月-3月の事故件数は22件発生しています。昨年は、事故件数(169件)、死亡者数も(5件)と過去5年で最多でした。H23年は、事故数の減少にむけて、安全対策を徹底しましょう。



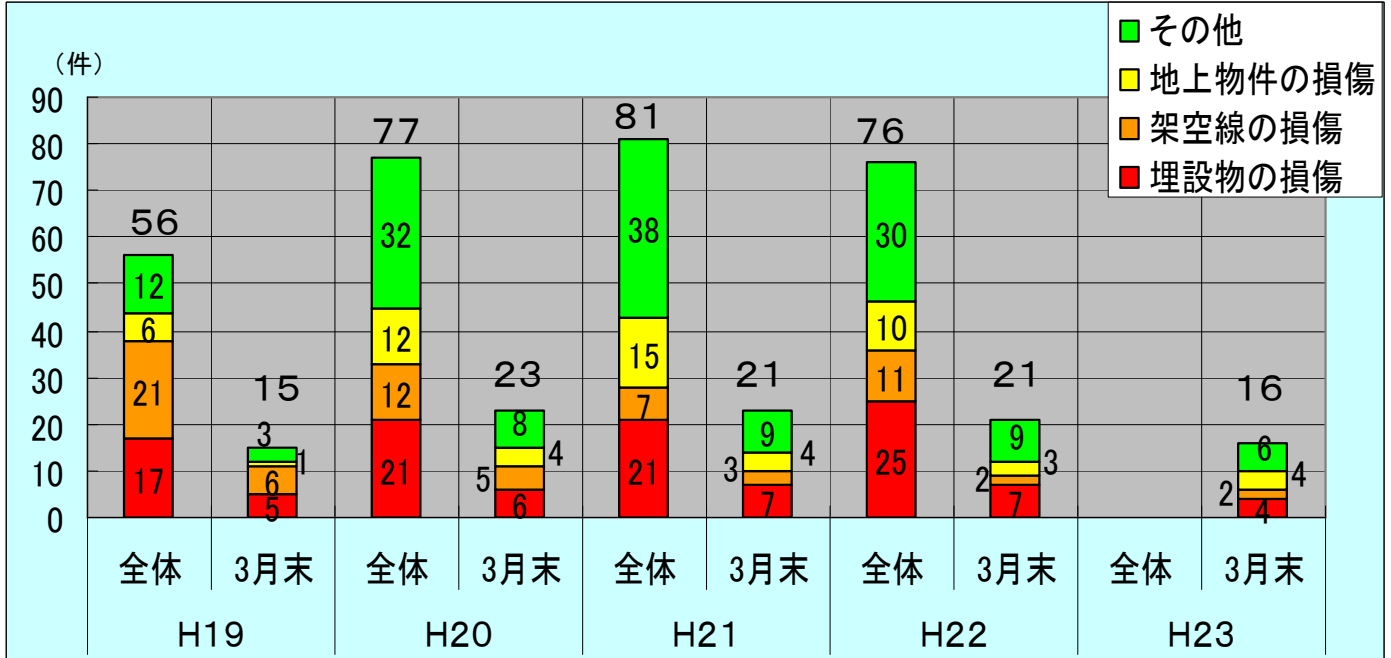
#### 2. 労働災害の状況

H23年の休業4日以上の発生件数も、既に2件発生、例年と同じ状況です。安全対策を徹底し、重大災害の発生を防止しましょう。



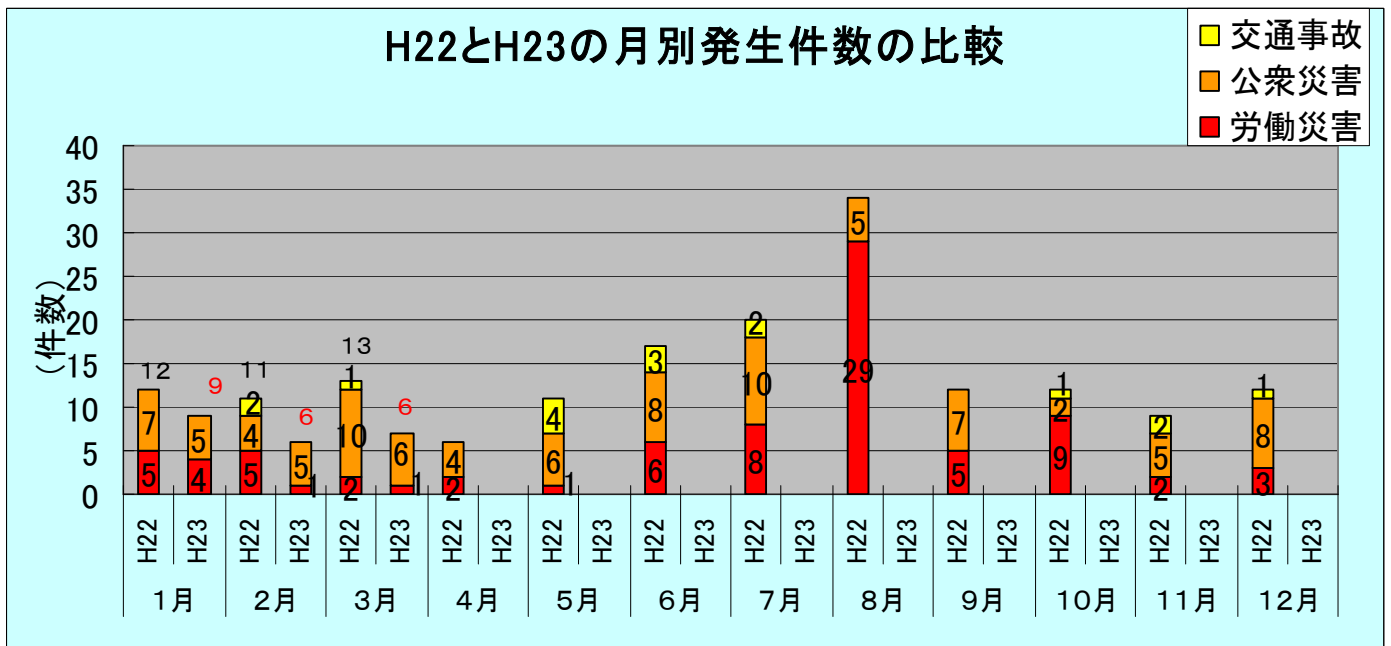
### 3. 公衆災害の状況

平成23年の公衆災害は、16件発生し、例年と同じ状況です。例年埋設物損傷事故が多く発生していますが、本年はすでに4件発生しています。



### 4. H22年とH23年の月別事故発生状況

平成23年は、1月に9件、2月に6件、3月に6件の事故発生件数となっている。事故発生状況は、H22年と同様公衆災害が多い状況にあります。



# 平成23年度における建設工事事故防止のための重点対策の実施について

☆重点対策として以下の項目があげられています。☆

## 重点対策として

### I・発注者が実施する対策

1. 交通事故防止重点対策
2. 足場からの墜落事故防止重点対策
3. 法面からの墜落事故防止重点対策
4. 飛来落下事故防止重点対策
5. 工事事故に係わる広報活動の推進
6. 安全活動の評価

### II 関係業団体が実施する対策

1. 交通事故防止重点対策
2. 重機事故防止重点対策
3. 足場からの墜落事故防止重点対策
4. 法面からの墜落事故防止重点対策
5. 飛来落下事故防止重点対策
6. 各種事故共通重点対策

国北整技管第 4 号

平成23年4月12日

各事務所長 殿

本局関係課長 殿

企画部長

平成23年度における建設工事事故防止のための重点対策の実施について（通知）

※H23年は、飛来落下事故において、除草等の作業時の小石等飛散防止措置の追加

## ☆重点対策の事故防止対策事例紹介☆


※交通事故防止重点対策 建設工事事故対策検討委員会(24回)会議資料より紹介

事例-1 安全仮設備等の工夫(吊り足場を設置した状態で橋桁架設)


鋼桁架設工事において墜落災害事故が発生する率が高いことから、当現場においては、可能な限り足場を桁に取り付けた状態で、桁架設することにより高所作業での足場組立時間を約70%削減することができ、足場作業の危険を減少することができた。



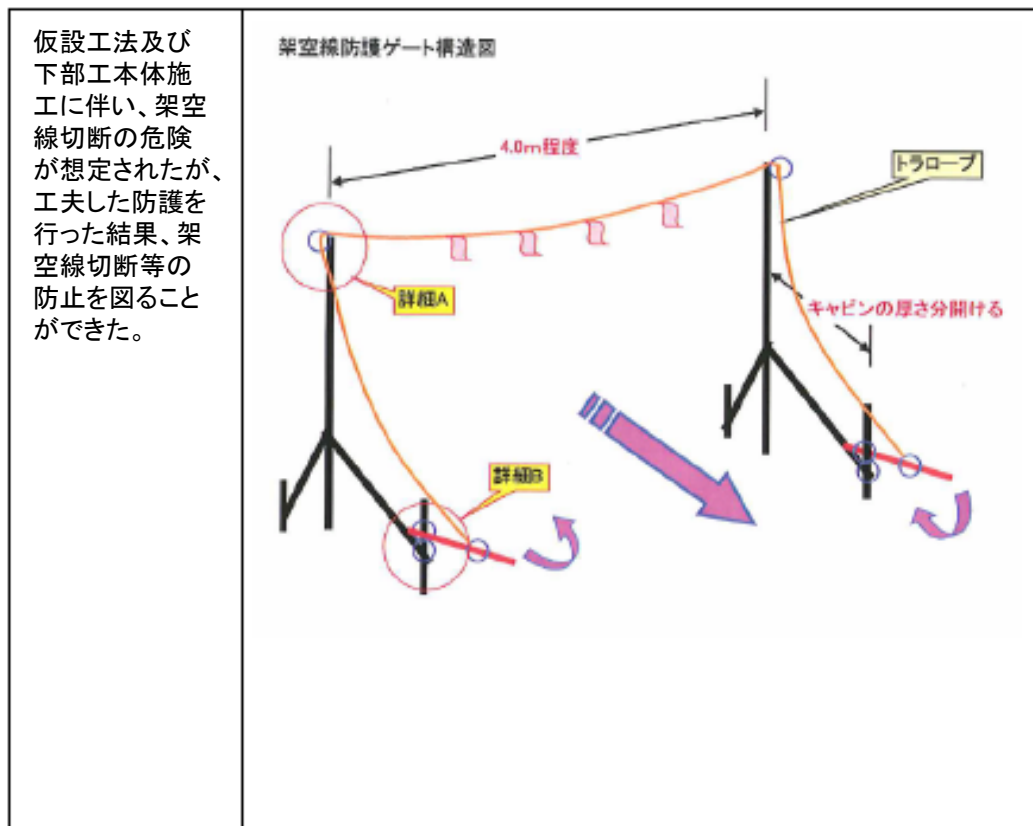
### 事例-2 安全仮設備等の工夫(足場の大型設置用の専用つり金具を製作)

<p>従来の設置方法では、クレーンによりワイヤー4点吊りとしていたため、足場のねじれ、たわみが懸念され、吊り上げ時の倒壊による、近接道への影響も考慮し、足場の固定方法を検討した。当現場にて、多点固定を行うため専用金具を製作し施行した結果、ねじれ、たわみが生じず、安定した大組が行え、安全に作業が出来た。</p>	 <p>The top photograph shows a blue crane lifting a large green scaffolding structure. A yellow arrow points to the lifting point with the label '足場吊り金具使用状況'. The bottom photograph is a close-up of the custom-made metal lifting bracket, which has multiple attachment points for cables. A yellow arrow points to it with the label '足場吊り金具'.</p>
---	---

### 事例-3 安全仮設備等の工夫(重機近接感知システム(超音波式)の設置)

<p>舗装工事の転圧作業において、作業員の巻き込まれ事故が発生しないように、超音波式安全装置を取付、接触事故の防止を図った。</p>	 <p>The top photograph shows a yellow roller with an ultrasonic safety system installed on its front. The bottom photograph is a close-up of the control panel for the ultrasonic safety system, which features several buttons and a display screen.</p>
--	---

#### 事例-4 安全仮設備等の工夫(架空線があることを気付かせる工夫)



### 建設工事事務データベースへの登録を忘れずに

建設工事事務データベースへの登録(入力)を忘れずにお願いします。

請負者、発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)して下さい。

建設工事事務データベースは、各地方整備局、都道府県、政令指定都市、公団が発注した公共工事のうち、一定規模以上の事故が発生した工事について、事故報告をインターネットを利用してデータベースに入力するものです。

データベースを「建設工事事務データベース」もしくは「SAS(Safety Analysis System)」と呼び、管理業務はSASセンターが行っています。

登録(入力)は、SASセンターのホームページから

URL <http://sas.ejcm.or.jp/>